

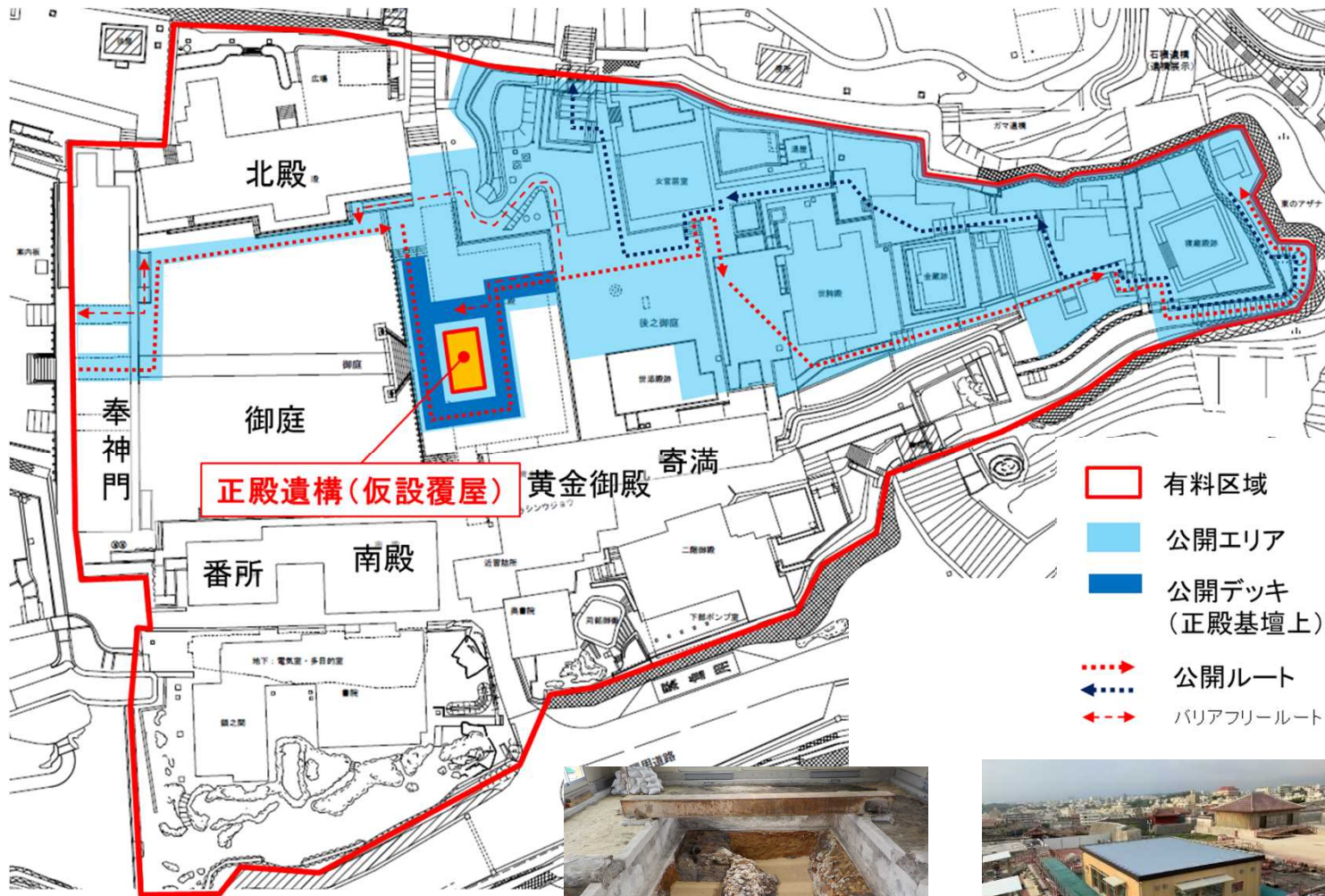
# 首里城復元に向けた取組みについて

---

沖縄総合事務局

# 首里城復元に向けた取り組み／正殿遺構等の一部公開

令和元年10月31日に発生した首里城での火災により焼失した正殿等について、現在復元に向けた検討を進めているところ、現地での破損瓦等の撤去や火災の影響を受けた正殿遺構の保護処置等が完了することを受けて、6月12日より火災以降閉園している有料区域の一部を一般公開開始。



正殿遺構(4月24日時点)



正殿遺構 仮設覆屋(5月11日時点)

## 【現状】

### ○応急処置の実施

- ・ 足場の設置（令和2年2月27日）  
大龍柱の周りに養生等に用いる仮設足場を設置。
- ・ 記録（令和2年2月28日～29日）  
仮設足場を用いて、大龍柱の損傷状況を記録。
- ・ 養生（令和2年3月5日～7日）  
損傷の更なる進行防止のため、シートやバンド等により養生。

### ○補修作業の準備

- ・ 補修作業場（仮設）を下之御庭に整備。  
（令和2年7月1日～9月18日）
- ・ 移動に向けた養生作業（梱包しウレタンで固定）  
を実施。（令和2年8月24日～9月17日）

## 【今後の対応】

- ①補修作業場への移動  
下之御庭の補修作業場へ大龍柱を移動。
- ②補修  
補修小屋の外部から見学可能な形で、ひび割れ部を樹脂等で補修。
- ③展示等  
新たな大龍柱の製作まで展示し、その後製作の見本として活用。



養生作業（ウレタンによる固定）中の大龍柱（吽形）



下之御庭に整備中の補修作業場

## 【奉神門の仮復旧】

火災により一部焼失した奉神門北側の屋根について、門の室内にある電気設備等への漏水対策の一環として、瓦屋根を仮復旧する工事を進めているところ。

- 整備期間・・・令和2年7月～令和3年3月(予定)
- 整備内容・・・小屋組、瓦葺き、塗装等



北側屋根を仮復旧中の奉神門

## 【仮設便益施設の設置】



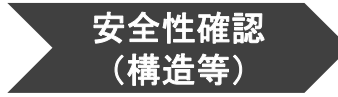

火災により焼失した北殿等の便益機能の一部回復を目的として、本年10月31日のオープンを目指して、寄満跡において仮設便益施設の整備を進めるとともに、女官居室において休憩・物販スペースの整備を進めているところ。

- 整備期間・・・令和2年7月～10月(予定)
- 施設内容
  - ・仮設便益施設(寄満跡)・・・トイレ、展示スペース
  - ・女官居室・・・休憩・物販スペース、オープンカフェ
  - ・世誇殿・・・休憩スペース、大型モニターによる展示



沖縄県が整備を進める仮設便益施設(寄満跡)

# 正殿復元に係る設計スケジュール(案)

	令和2年度	令和3年度
		
		
技術検討委員会	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">5月21日第1回</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">9月25日第2回</div> </div> <p>・防災、木材・瓦類、彩色・彫刻に係る設計の進捗に併せて技術検討委員会を開催</p>	
防災	<p>・首里城全体(北殿や南殿等を含む)の防火対策の考え方、整備すべき防災・防火設備の検討</p>	<p>・正殿等で整備する防災・防火設備の仕様等の確認</p>
木材 ・ 瓦類	<p>・首里城正殿で使用する木材(大径材等の構造材)の樹種、使用箇所の検討等</p>	<p>・正殿で使用する木材・瓦類の仕様等の確認</p>
彩色 ・ 彫刻	<p>・前回復元後に実施された塗装・彩色方法の検証 ・石膏模型・下絵の作製、材料、施工方法の検討</p>	<p>・正殿に施す彩色・彫刻の仕様等の確認</p>

第1回技術検討委員会(5月21日)以降の検討状況を踏まえて、以下の事項をご議論いただきたい。

## ○木材・瓦類関係

- ・構造材(大径材)の樹種選定方針 など

## ○防災関係

- ・首里城全体の防火対策の考え方
- ・首里城正殿の防火対策 など

## ○彩色・彫刻関係

- ・彩色・彫刻に関する検討状況、今後検討すべき事項 など

## ○その他

- ・上記に加えて、今後検討すべき事項